



古畑 浩一  
議員

### 北陸新幹線開業 にむけての 課題と対策

#### 北陸新幹線開業にむけての 課題と対策

質問

新幹線の試験走行が始まるなど、着々と開業への準備が進められているが、市民の間では期待感とともに、糸魚川

駅に新幹線が何本停車するのか、交流人口が本当に増大するのか、景気は良くなるのか、在来線の利便性は低下しないのかといった不安も広まっているようにも思う。

市は、何をどうやって売り込もうとしているのか。平成27年3月の開業を控え、次の

点について伺う。  
・新幹線の停車本数の見込み  
・開業後の経済波及効果  
・新幹線駅の1階の活用、総事業費  
・北アルプス日本海広域観光連携会議の事業内容

市長答弁

北陸新幹線の運行本数や糸魚川駅の停車等については、概ね開業3か月前に決定される予定である。

開業後の経済波及効果については、観光庁の測定ソフトによる試算では、本市が目標としている観光入込客数200万



新保 峰孝  
議員

### 下水道事業について

質問

下水道の整備状況や今後の事業費の見込みは。現在、下水道使用料金の値上げが検討されているが、市民説明はどのように行っているのか。

#### 下水道事業について

市長答弁

平成24年度末の市全体の下水道普及率は93.6%で、平成27年度末には整備がほぼ完了する予定である。また、事業費については、下水道使用料を改定しない場合、今後10年程度は毎年平均7億円程度の基準外繰入金が必要となり、市

質問

#### 温泉センターと権現荘の 管理運営について

市は権現荘の経営状況や柵口温泉郷の将来の姿をどのように考えているのか。

財政に重くのしかかることとなる。市民の皆さんには、今年度、地区訪問懇談会等17か所下水道事業の経営状況について説明させていただいたが、今後も、広報等での周知のほか、地区の集会等で説明を行っていききたい。

市長答弁

また、権現荘の改修とともに、温泉センターを権現荘に統合する考えが示されているが、公共的性格の強い温泉センターこそ、市民の健康づくり施設として残すべきではないか。

権現荘の運営は厳しい状況にあることを認識しており、今後も健全経営に努めていく。周辺の他の施設や関係者の皆さんと連携を密にする中で地域振興、柵口温泉郷の活性化に努めていきたい。また、権現荘の改修とともに

ある。現在、観光誘客戦略の企画を進めており、関係自治体・団体と連携しながら、交流人口拡大事業を展開していきたいと考えている。



試験走行中の北陸新幹線（横町地内）

#### 《その他質問項目》

- ・市独自の経済対策について
- ・能生学校給食センターの民間委託について
- ・ハラスメント防止指針について